

黒田庄まちづくり協議会より

＜西脇市黒田庄交流拠点施設「あつまっ亭」改修等事業報告＞

JR加古川線地域活性化策に基づき無人駅舎に賑わいを創出し、地場産業・観光案内等の情報発信を行うとともに、人々の交流拠点施設として地域の活性化を図るため、平成16年度に旧黒田庄町が黒田庄駅舎であった建物を改築し、黒田庄交流拠点施設「あつまっ亭」が完成しました。

平成17年度から平成26年度までの10年間を黒田庄駅周辺活性化住民組織「えき益ゆうき」、平成27年度から令和元年度までの5年間を黒田庄地区まちづくり住民会議が市から施設の指定管理を受け、「あつまっ亭」の施設管理や自主事業の喫茶・朝市など活性化に取り組んできました。

令和2年度から黒田庄まちづくり協議会が施設の指定管理を受けており、昨年度には兵庫県立大学生のコミュニティビジネス班のカフェ運営など「あつまっ亭」の活性化に向けた行動計画の提案がありました。喫茶運営を見直すためにも厨房が少し狭いので改修を行い、備品を更新・購入して、チャレンジショップ出店など「あつまっ亭」の活性化につなげていくことにしました。

9月25日から解体・大工工事に着手し、その後、電気設備・給排水設備工事を行いながら、流し台・調理台・ガス台・ガスコンロ・大型冷凍冷蔵庫・冷凍庫・製氷機・食器棚など備品を順次導入しています。



厨房改修前



厨房改修後

＜あつまっ亭チャレンジショップ出店者募集＞

「あつまっ亭」の厨房改修や備品の更新・購入により、「あつまっ亭」の活性化につなげるため、チャレンジショップ出店者募集のチラシを9月中旬に全戸配布していますが、週に1日程度、自分のお店を持ちたい方、自分の作品を販売したい方、夢に向かってチャレンジしたい方など、興味のある方は、ぜひ応募ください。応募期限は、令和2年10月末です。出店者の決定については、後日選考のうえ決定します。



【応募・お問合せ先】

西脇市コミュニティセンター
黒田庄地区会館(黒っこプラザ)内
黒田庄まちづくり協議会 電話 0795-28-2121

第173号10月



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
令和2年10月15日発行



黒田庄地区の人口

(R2.10.1現在)

男 3,193

女 3,406

計 6,599

世帯数 2,648

人口前月比 (+7)

★黒田庄中学校トライやる・ウィークへの協力★

去る10月6日(火)に2020年度黒田庄中学校「トライやる・ウィーク」が実施されました。例年、6月に5日間実施されていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、10月に延期して1日のみの実施となりました。

活動内容は、地域貢献活動(清掃活動)で、活動場所は、JR黒田庄駅・JR本黒田駅・JR船町口駅・黒っこプラザの4カ所で行われ、黒田庄中学校2年生50名が4班に分かれて清掃活動に取り組みました。

今年の「トライやる・ウィーク」については、事前に黒田庄中学校から地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」をより充実させるために、黒田庄地区区長会・黒田庄まちづくり協議会に指導ボランティアの協力依頼があり、区長・まちづくり協議会役員等14名も一緒に参加しました。

開始式では実行委員挨拶・指導ボランティア挨拶・諸注意があり、その後、1時間程度の草引きなどの清掃活動を行いました。終了式では指導ボランティア講評・実行委員お礼の言葉がありました。

今回の清掃活動によりJR黒田庄駅・JR本黒田駅・JR船町口駅・黒っこプラザは大変きれいになりました。

【JR 黒田庄駅】



開始式



作業中



集合写真

【JR 本黒田駅】



作業中



終了式



集合写真

【JR 船町口駅】



開始式



作業中



集合写真

【黒っこプラザ】



開始式



作業中



集合写真



虹の会工房 就労継続支援B型&生活介護&グループホーム

例年より遅れて田んぼの畔に彼岸花がたくさん咲いています。コロナ禍であっても、稲は実りの時を迎えているんですね。過ごしやすくなってきましたので、ウォーキングしながら秋を見つけに出かけています。

お菓子作りも新商品の開発や、安心して美味しい商品を提供できるよう毎日頑張っています。

(文責 坂田)



生活介護で切り絵教室があり、ハロウインの飾りを作りました。



お菓子セット
10月はハロウィン
中身はお楽しみに・

500円です♡

<黒田庄こども園ニュース>

<黒田庄こども園ミニミニ運動会！>



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年と違った「ミニミニ運動会」になりましたが、保護者や地域の皆さんにご理解・ご協力いただき、無事、子どもたちの練習の成果をご覧いただきました。

検温や手指消毒等、ご無理を申しましたが、皆さんご協力ありがとうございました。

園児のパワーはすごいです！！感染症や猛暑の夏を吹き飛ばすように、みんな明るく元気いっぱいに取り組んでくれました。

失敗もありました。しかし、いろいろな経験を通して子どもたちは大きくなっていきます。

無限の可能性をもっている子どもたちを支援してやるのが大人だと思います。運動会でいただいた励ましを、明日からもお願いします。

まだまだ感染症は心配ですが、心を一つにして、ウィズコロナで力を合わせて乗り切りましょう！！



<5歳児のエイサー>

<リンクスマイル来園！！>

子育て支援グループ『リンクスマイル』の方々に来園いただき、10月13日・20日・27日の3日間、3歳児以下年齢別で「お弁当や食育、お楽しみシアター」など、楽しくてためになる会を開いていただきます。

コロナ禍の中で、園外の親子との交流はできませんが、黒田庄まちづくり協議会の構成団体でもある『リンクスマイル』の方々にご支援いただきます。4・5歳児については、年が明けてから人形劇を観せていただく予定です。

いつも、こども園や町内の子育て支援ありがとうございます！

(4)

★「黒田庄の歴史を学ぶ会」では石造物調査を実施しています！

—ご協力をお願いいたします。—

＜黒田庄の歴史を学ぶ会＞

黒田庄には、県指定の荘厳寺の本堂や多宝塔、兵主神社の拝殿などの建造物だけではなく、石で作られた文化財、「石造物」が数多く残されています。代表的なものとしては、大門の石造十三重塔(西脇市指定有形文化財)や石原峠の地蔵、桜丘小学校下の道標、旧黒田庄町役場前の道路元標などがあげられます。各集落には、悪いものや病気などが入らないようにと村境に地蔵がまつられていたり、日々の平穩を願い、亡くなった方を弔うために供養塔や六地蔵などが建てられたりしています。

また、喜多の丸山には、四国八十八ヶ所や西国三十三ヶ所の代替え霊場が設けられています。

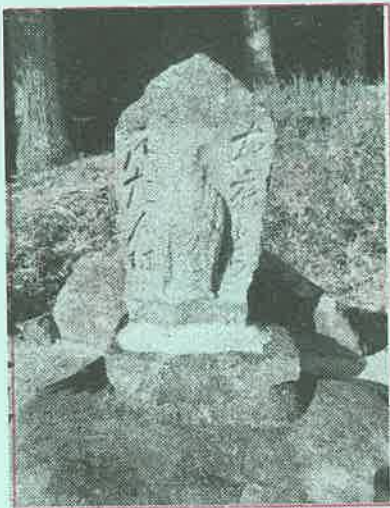
石造物は、すぐ身近にあるもので、昔から大切に守られてきました。今でも辻にあるお地蔵さんでは夏に地蔵盆が行われ、津万井の地蔵堂などでは毎年数珠繰りが続けられています。

それでは、これらの石造物は、いつごろ、何のために造られたものなのでしょうか。石造物をじっくり見ていくと、年号や造られた理由を刻んでいるものがあります。

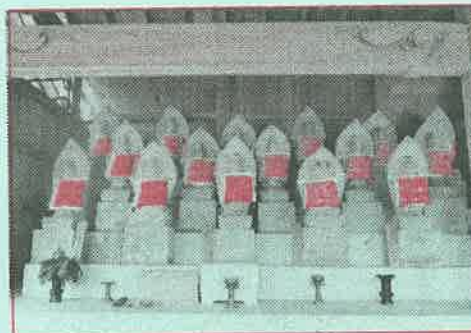
黒田庄では鎌倉時代後半頃にはすでに造られていたようです。同じもののようでも、形や大きさが違い、造られた時期や理由も異なっています。

「黒田庄の歴史を学ぶ会」では、兵庫県の「北播磨地域づくり活動応援事業」の助成を受け、これらの石造物を調査し、その成果を冊子にまとめることにいたしました。報告会や展示会なども開催できればと考えております。10月～11月が本格的な調査を実施する期間となります。

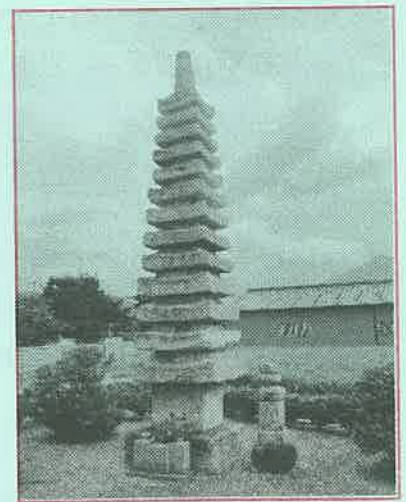
このため、当会の会員が各集落へと調査に入らせていただきますが、ご理解とご協力をお願いいたします。また、各集落の石造物についての情報があれば、ご教示いただければ幸いです。



わたりこし地蔵(小苗)



西国三十三ヶ所霊場(喜多丸山)



石造十三重塔(大門)

編集後記

9月19日(土)に楠丘・桜丘の両小学校の運動会が行われました。当日は去年と違い良い天気になりました。我が家には楠丘小学校に通う子どもがいます。

今年は新型コロナウイルス感染症防止のため、密接になるダンスや高学年の組体や騎馬戦等は無かったのですが、応援合戦やリレー等子ども達の元気な姿を見ることが出来ました。種目は少なかったけれど、どの種目も子ども達は一生懸命頑張っていました。

きっと例年の運動会より、忘れられない記憶に残る運動会になったのではないのでしょうか？

今年は、行事も少ない中で運動会が行われて良かったと思いました。

Y.T